

国際ソロプチミスト幡多 会報No. 5



四 万 十

1998年9月～1999年6月

1999年7月～2000年6月



宿毛湾の風物詩 ダルマ夕日

発 行 国際ソロプチミスト幡多 広報委員会

ソロプチミスト誓約

私達はソロプチミストとして、ソロプチミズムに忠誠を誓い

真摯なる友情
偉業達成の喜び
奉仕の尊さ
誠実な職業
国土愛

等を強調するその理想に忠実に従います。

私たちは、最善を尽くして
これらの理想を促進し、支持し、擁護し、
家庭、社会、実業界において、
より大きな友情を築き、
国家のため、神のために努力致します。

スローガン

国際テーマ(1995~1999) グローバル・ボイス グローバル・ビジョン

連盟テーマ(1998~2000) 女性のために変化をもたらす

西リジョンテーマ(1998~2000) やすらぎ 今を生きる女性への贈り物

表紙写真解説 12月から2月にかけて宿毛湾に沈む夕日は水蒸気に反射してダルマのように見える。良く晴れた気温の低い風の無い日にこの現象が見られる。



ご あ い さ つ

1998年9月～1999年6月
国際ソロプチミスト幡多
会長 熊井 弘子

長いような短いような10ヶ月が終わり、なんとなくホッとした今日この頃。

会員皆様方のご協力を賜わりながら、毎年の幡多クラブの活動計画をこなすだけに終わってしまった感がないでもありません。

昨年から今年にかけて、例年に違わず内外で様々な事件、事故、災害そして内戦が新聞テレビを賑わして参りました。私が会長職を引き継いでの最初の仕事は、あの高知市、南国市を水浸しにした水害の義援金を送金する事でした。水害の被災地に比べ私共の幡多地区は、お陰様でこの一年比較的平穏無事だったと神様に感謝いたしました。

国際的にも沢山の難問がございました。私達はソロプチミストの一員として、連盟、リジョンの指示により、各国の難問問題、災害の被災地に義援金を負担する行為でかかわっております。

独りの力ではどうしようもない事でも、会員・クラブ・リジョン・連盟が力を合わせてこそ出来る素晴らしい国際的組織です。私はこの事を考えただけでもソロプチミストの会員になった事を誇りに感じておりますし、クラブとして日常大した活動が出来ていなくても満足しております。私たち幡多クラブは、三年後に認証十周年を迎えます。これからの3年間は、その事業に向かって無理のない計画をすこしづつ立てていかなばなりません。そのためにも会員の皆様方にお勧めしたいのが外に出るということです。折りあるごとに他クラブの有り様を知る事が大切だと思います。

内はうちの意識も結構ですが「井の中の蛙」では駄目だと私はつくづく感じた十ヶ月でございました。どうぞ外部を見て参考になることは積極的に取り入れ、たとえ出来なくても「知っておく」という事は、私達にとってとても大切な事だと思います。そしてすこしづつ前進しましょう。

存続の中で毎年ほんの少しでも努力をして前に進もうではありませんか。

代々の会長さんには、夫々有能な個性がございました。その六人目の私はあまりにも微力で会長にふさわしい性格ではございませんが、皆様方のご協力のお陰様で、無事に任期を終了する事が出来ました事、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

1999年6月30日

1年間のあゆみ

【1998年9月～1999年6月】

役員交替式（新ロイヤルホテル四万十）



日高喬子前年度会長より熊井弘子新会長へ会旗が手渡される。

【9月6日】

西リジョン役員研修会出席 筒井、矢野川

【9月17日】

1998年度 第1回例会

【9月21日】

インドシナ難民衣料「愛の衣料」荷造り

【9月24～30日】

秋の全国安全運動街頭指導に参加 乾、沖、正木、畑中、白木、井上

【10月1日】

高知水害救援金として10万円送金 救援物資タオルを送る

【10月2日】

中村ロータリークラブ創立35周年記念式典出席 日高

【10月5日】

四万十川音楽祭「ランナ・キュッヒル演奏会」お手伝い

沖、日高、乾、久米、畑中

【10月16日】

第5回四万十川ウルトラマラソン国際大会でお呈茶と給水ボランティア



【11月2日】

S I 備前認証10周年記念式典出席 熊井会長

【11月25日】

日本財団大会出席

(福岡市)

日高、熊井、次田

大田、浦岡



【11月29日】

四万十川一斉清掃参加

【12月24、25日】

土佐清水市産業祭にて

バザー開催

手作りの炊き米ご飯と

ピノキオパン店の

クッキーが大好評でした



【12月17日】

歳末助け合い運動 30,000円送金

【12月24・25日】

クリスマス アイスクリーム販売 159個 101,380円収益

【1月21日】

1月通常例会・新年会開催 認証5周年記念誌発行



【2月17日】

S I 総社認証10周年記念式典出席 熊井会長

【3月】

三市へ図書寄贈

【3月8日】

認証10周年記念式典準備委員会発足 (アンケート実施)

【4月8日】

福祉施設訪問 土佐清水市さんごはうす共同作業所を慰問して45,000円寄贈

【4月20日】

S I 西条認証10周年記念式典出席 熊井会長

【4月21日】

S I 境港10周年記念式典出席 熊井会長

市民憲章推進協議会出席 沖

【4月22日】

薬物乱用防止研修会出席 白木

骨髄バンク支援サポーターとして10,000円送金

【5月8日】

S I 高知ガーデンパーティ出席（鷹匠公園内） 正木

【5月13～19日】

交通安全街頭パレード参加 乾、白木、正木

【5月20～21日】

第13回日本西リジョン大会（広島国際会議場）

出席者 熊井、浦岡、大井田、日高、筒井、正木、久米、乾、矢野川

【5月27日】

横江清子さん入会式（例会）

【5月30日】

四万十川一斉清掃参加

【6月17日】

役員交替式（ロイヤルホテル四万十）

【6月21日】

S I 岡山桃認証式典出席 沢近

【6月24日】

全国小京都会議においてお呈茶のお手伝い

筒井、山崎（寿）、沢近、町田、乾、山崎（昭）、久米、浜田、井上、山脇
正木、矢野川



会員からの寄稿

全国小京都会議にてお呈茶の奉仕

経済的社会的開発奉仕委員会 沖 喜美子

梅雨も後半に入ったかしらと思わせる6月26日〔日〕、前日のどしゃぶりの雨も上がって薄日の差す初夏の一日でした。京都とゆかりのある全国54市町が一堂に集まって観光振興等で話し合う第15回全国小京都会議が中村で総会を開催することになりました。

会場の中村ロイヤルホテル玄関ロビーでは京都から来た二人の可愛い舞妓さん（20歳と19歳）の披露があり、私たちは二階ロビーで御呈茶を設けることになりました。野点傘には淡々齋宗室の「瑞雲生五彩」の短冊を挿し、竹花筒には半夏生、たいまつ草、梅花甘茶の花が楚々として活けられ、その姿は自ずと私達を幽玄なる茶の世界へと導いてくれるのでした。眞甚香齋の黄交趾に四季の花の水差しはその見事さに目をみはるばかり、黒地松蔭絵のおなつめ、そして四万十川を思わせる清涼感あるお茶碗、その上翠嵐の糸目蓋置、この総会のために遠路お運びいただいた方々をねぎらう気持ちを車軸のお釜に託して、心からの一碗のお茶をと、天然の水でお湯を沸かしました。素晴らしいお席が出来上がり、私達一同も心洗われる思いでした。

開会前の静かなひととき、京都からおみえになられました京都市観光協会のメンバーの方々が御席入りしてくださって、しばらく拝見の後「素晴らしい美意識に京都へ返ったようだ」とお褒めのお言葉をいただきました。

ロビーの隅ではありましたが、華やかに、小京都として最もふさわしい美しい彩を添ええた事を一同心より嬉しく思いました。

大切なお道具をお貸しくださった方々には心より厚くお礼申し上げます。

「清流」と銘うたれたお菓子も素晴らしい出来栄えでまるやかなお茶「松柏」にぴったりでした。

本会議前にわずかな時間でしたけれど、それぞれが与えられた分担をこなし、手際よくお点前しながら、その合間にはいろいろと知らないことを教えていただいたり、着物の事、帯の事、お茶の点て方はもちろんの事、本当に楽しい一時でした。

イベントをやるまでは何時も「大変だ」という気持ちが先に立って何だかやめたくなるものですが、今回も済んでしまうと、お客様にご満足いただき、私達もやってよかった、楽しかったと嬉しくなります。一同が心を一つにして取り組むからでしょうね。これからも会長中心に強いスクラムを組んで前進していきましょう。

年度末の締めくくり行事として、私達に最もふさわしい奉仕をさせていただいた事を心より感謝いたします。ご苦労様でした。



ご あ い さ つ

1999年7月～2000年6月
国際ソロプチミスト幡多

会長 筒井 翠子

初夏を思い出させるような風薫る快い今日、会長任期の最後の日を無事に迎えることができました。

2千年という千年の節目に会長職をおおせつかり不安もいっぱいでしたが、ソロプチミスト活動を通じ皆様のご協力により楽しい一年を過ごすことができました。

経済的社会的開発奉仕・教育奉仕・環境奉仕・保健奉仕・人権/女性の地位委員会・国際親善・理解活動委員会などの「奉仕プログラム」にも一生懸命力を入れ、青年市民賞・訓練賞・ユースフォーラム・女性荣誉賞/女性の地位向上功労賞などの資金援助や留学生援助等の「連盟プロジェクト」も名前を覚えるだけでも一苦勞でした。福祉や公共施設への備品寄贈、四万十川や松田川の環境整備、宿毛市・中村市・土佐清水市三市へ図書寄贈等の「地域プロジェクト」ではひとつひとつ心を込めて真剣に取り組んできました。勉強になる講演もいっぱいさせていただきました。

フロリダ出身のオルガさんの「日米比較文化」の講演、「医薬分業」「介護保険」等の卓話、「四万十川僻村塾開塾5周年」「水環境保全シンポジウム」等、国際化、情報化、福祉、教育、環境問題などについて、私達自身も勉強を重ねてきました。

21世紀を迎えるにあたり、「本当の幸せは何か」を考え、意識、価値観、ライフスタイル、文化、産業、経済の新しいあり方を模索していかなければいけないと思います。

これからも国際プロジェクトに参加しているという意識を持って、奉仕プログラムの充実、奉仕の輪を広げて会員とともに親睦を深めながら歩んでいきたいと思います。この1年間、不十分で御座いましたが一緒に歩んでくださり、ご指導、ご協力下さった幡多クラブの皆様にご感謝申し上げます、次期会長の乾さんにバトンタッチして、引継のご挨拶にさせていただきたいと思います。

新樹光 姉妹と奉仕の 輪を展ぐ

1年間のあゆみ

【1999年7月～2000年6月】

役員交替会 （新ロイヤルホテル四万十）



熊井弘子前年度会長より筒井翠子新会長へ会旗が手渡される。

【7月4日～8日】

1999年ソロプチミスト国際大会 ヘルシンキ（フィンランド）



フィンランドは森と湖と携帯電話とムーミンの国
25才～29才の女性の内90%が仕事を持つ。
200議席の内79議席が女性。
欧州連合の議長国になった。

【7月17日】

1999年度日本西リジョンクラブ役員研修 ホテルグランヴィア岡山 5名出席

【7月25日】

四万十川一斉清掃 5名参加

【7月30日】

1999年度 クラブ委員長研修会 ホテルグランヴィア岡山
ホテルニューオカヤマ

【8月】

ソロプチミストメンバー グレース前田（カリフォルニア在住）中村訪問
四万十川 川くんだり親睦会 4名参加

全国トンボ市民サミット中村大会 乾エレクト出席
山本彩加さん（宿毛高3年生）ユースフォーラムに参加
トルコ地震救援金として1万円送金

【8月19日】

例会にて、すみれ薬局 豊島先生による卓話 「薬の正しい知識」

【8月25日】

水環境シンポジウム 2名参加

【9月2日】

インドシナ難民衣料「愛の衣料」荷造り ケアハウス 8名参加

【9月30日】

秋の全国交通安全運動街頭指導に参加

【10月2日】

四万十川国際音楽祭に参加

【10月13日】

S I よさこい高知認証式 高知城西館 17名参加



【10月17日】

第6回四万十川100kmマラソンにおいて給水ボランティア

【11月10日】

水環境保全市町村連絡協議会全国大会シンポジウムにてお呈茶のお手伝い
新口イダルホテル四万十 13名参加 橋本大二郎との記念撮影



【12月4・5日】

土佐清水市産業祭 前日お寿司作りを含め 17名参加

【12月5日】

四万十川一斉清掃 3名参加

【12月16日】

例会にて入会式

有田都子さん
山中澄恵さん

会員が増えて嬉しい
限りです。



【12月24日】

クリスマス アイスクリーム販売 収益金 105,839円
歳末助け合い運動 各会委員千円寄付

【1月13日】

3市図書寄贈 宿毛市市役所



【1月21日】

例会及び新年会 国民宿舎椰子

S Iよさこい高知より5名の訪問を受け親睦を深める。有田、大田会委員によるお琴の演奏等でおもてなし。



【2月17日】

例会にて卓話 筒井病院 ケアハウス 17名出席

講師：山田オルガ 「日米比較文化について」



【4月10～14日】

春の全国交通安全運動 7名参加

【5月16日】

福祉施設慰問 宿毛授産園 5万円寄付 6名出席



【5月27、28日】

第14回 日本西リジョン大会 岡山シンフォニーホール 4名出席



日本西リジョン大会前夜祭

【6月15日】

例会及び役員交替会 スワロー会館 21名出席

会員からの寄稿

杜を育てる会

井上 恵子

ある女性教育委員の勇気ある一票

中村高校の傍の小高い山の一角に、皇室ゆかりの神社がある。

奥御前と呼ばれる菊の御紋を配した社殿はお世辞にも立派とはいえないが、中村市にこんなところがあったとは以外であった。

以前から奥御前という華やかな名称には何か惹かれるものがあったが、一度も足を向けることはなかった。しかし、ある縁でこの神社とかがかわることとなった。歴史は意外と古く一条教房公の中村下向以前に、もうすでに建立されたこの社殿の裏に樹齢四百五十年以上といわれる大杉が一本ある。この大杉が付近住民と市の間で永年に渡る“切る”、“切らない”と論争されてきた問題の杉である。(市の教育委員会で天然記念物に指定されていたため)

その杉の問題が急に具体化されようとして、市の教育委員会で採択されようとした時、唯一人の女性教育委員である野村美詠子さんが反対票を投じて涙で説得したとのこと「一度失われれば、木の命とはいえ、二度と取り戻すことは出来ない。四百五十年の年月生き続けてきたこの貴重な木は切らないでください。」と訴えたと聞く。

住民にとって危険に写るこの杉もそれなりの廻りの自然に順応して山の肌にその根をしっかりと張って生きている。杉に言わせれば住民の方が後からじゃないかといいたいそうである。

この大杉をなんとか守れないかとの野村さんの呼びかけに、私は少々不純な動機も手伝ってさっそく賛同した。というのも中村市観光協会の理事の末席に名を連ねている手前、何か観光資源になる物はないかと気にかけているところへ、この話は渡りに舟とも思えたのでした。しかし、様々な問題に対処しなければならなくなった時、これはそんな次元ではない事に気づかされたのです。

住民の不安を取り除き、この杉と共存してもらう為に、樹木医を招いて診断を受け、アンカーを打ちワイヤーを張り、下草を刈って肥料をほどこし、境内の整備清掃を何度なくボランティアを募って行った。また、この工事や手入れに必要な費用は軽く六百万円を越してしまい、市の補助金だけでは不足し広く募金をお願いしこれにあてがったがいまだに不足している。

そして、この諸々の作業をしていくうちに、私達「杜を育てる会」のメンバーの心の内が一步前進し、この大杉だけにとらわれず山や森の木、また、自然界全体へと視野を広げて行きたいと思うようになってきた。

清流四万十川の水量の低下は、ひとつは、上流の山の荒廃にあるといわれている。私達はその山の木に対しても、心をはらわなければならないと思う。

今は定期的に奥御膳の清掃や整備を、ボランティアを募っておこなっています。少しずつ歩を進めて他の木々や四万十川上流の山の手入れにも、かかわりたいと思っています。

子や孫に私達大人が、一番大切な物を残して置きたいから・・・。
ある一人の勇気ある女性の一票は私達に無限の希望を与えてくれました。
ここに素敵な一節をご紹介します。

“たとえ明日世界が滅びようとも、私は今日一本のりんごの苗を植えよう”
惜 別



浦 岡 絹 子 様
1999年12月7日 逝去

チャーターメンバーとして入会后
副会長、理事、各委員長を歴任し
ソロプチミスト幡多の発展に尽
くされました。

吹く風の 風の姿をそのままに
ソプラノの貴方(きみ)
なぜ急ぎぬ

大井田 三重

熱心な会員であられ、何時も明るくさわやかなお声で私共に接して下さっておられたので、浦岡様の訃報は驚きでした。難病と闘って折られたことを露ほどにも感じさせなかったもう御一人の浦岡様。内足で歩いておられた大和撫子を彷彿いたしました。「癌の告知を受けられてのお暮らしであったのかしら？」などまた、「最後にモルヒネがうまく効いてくれてのお楽な旅立ちであられたのかしら？」など千々に心乱れて、取り急ぎ永久のお別れを、この拙い短歌に託してお葬儀の日に送らせていただきました。

私達のお手本だった浦岡さん

浜田 美佐

私が浦岡さんに出会ったのは今から六～七年前のソロプチミスト入会時でした。それから昨年までご一緒させていただいた事に本当に感謝しています。心配り、気配りのつく方で私も見習わなくてはと思いつつも足元にも及びませんでした。

それに四季それぞれのお花、野菜、そして山菜を持ってニコニコしながら「これ皆さんで分けて持って帰ってね」といわれた言葉がつい先日の様に思い出され、熱いものがこみ上げてきます。

浦岡さんのソロプチミストに対する情熱は素晴らしい。

私も浦岡さんの意志を継いで、頑張っ取り組んで行きたいと思っています。

どうか高い所から皆の活躍を見守ってください。

浦岡さんを偲んで

日高 喬子

平成十一年十二月七日ちょうどその日は男の子の内孫、直哉が退院した日でした。朝から母子の退院に付き添い、我が家に落ち着き留守電を聞いたのは七日も夜半過ぎのことでした。

乾さんからの「浦岡さんが今朝亡くなりました」との思いもよらない留守電に、自分の耳を疑い、思わず再生ボタンを押し直したことでした。

夜中の事ゆえ、いろいろなことの確認も直ぐには出来ず、突然の訃報にそれからは一睡も出来ぬまま、SI 幡多の認証の打ち合わせで初めてお会いして以来の七年間の、思い出のひとつまひとつを走馬灯のように思い巡らした事でした。

十月はじめ、規約改正特別委員会の二回目の打ち合わせの会にご出席下さったのがお元気なお姿を拝見した最後でした。いつもの様に静かに皆の意見を聞いていらっしやいましたね。

一昨年の初夏、ちょうど同じ頃、貴方は腹部の、私は目の手術をした後の三ヶ月ぶりのその年度最終例会に何とか出席出来、お互いに健康であることの有難さを喜び合いましたのに・・・。

それからもご一緒いたしました福岡での第十九回財団大会、広島での第十三回リジョン大会などいつもお優しいお姿がありました。

今、思えば、手術以後の1年半はいろいろとご負担になられたこともおありでしたでしょうに。いつもお優しい笑顔での奉仕活動や事業への参加でした。

また、四季折々に家庭菜園でとれたお野菜や、早めに出た山菜を皆に分けてくださいましたね。いつの日でしたか、株分けしてくださった鉢植えの月桂樹が今は故郷福岡県飯塚の地で大きく育っています。

二十代で最愛のご主人を亡くされ、女手一つで三人のお子様方をそれぞれに立派に育てられ、定年退職後の悠々自適の晩年は、広い視野に立って奉仕活動の中で最後まで新しい自分を見出そうとなさっていた真摯なお姿は、私の心の中で永遠に生き続けています。そして貴女との出会いを与えてくれたソロプチミストに感謝しつつお別れの言葉といたします。どうか四十七年ぶりに再会なされた若きご主人様と安らかにお眠りください。

「春は名のみ」

- 浦岡さんを偲んで -

筒井翠子

心配したコンピュータ誤作動もたいしたことなく穏やかな新世紀を迎えました。

私達、幡多ソロプチミスト会員は1月20日に「よさこい高知」から5人のお客様をお迎えして合計27人で国民宿舎「椰子」で新年会をやりました。

例会後、琴の調べで新年会の幕開け、記念すべき2000年を一緒にお祝い出来る喜びを体全部で感じたものでした。

でも会員一同みんなが感じた共通の想い それは「ここに浦岡さんがいてくれたらなあー」という想いでした。昨年末、春を待たずに旅立った方。彼女のそのしなやかさ、強さ、優しさを思うと涙せずにはいられません。彼女の訃報は驚きと残念さ、くやしさをいっぱいでした。ボランティア活動に熱心で活動的で私達を教え導いてく

ださった方、今も優しい語りかけが昨日のように思い出されます。でも「彼女の死」は現実で、避けることはできません。これからは彼女の教えを守り、私達が元気に引き継いでいくことが願いと思います。ずっと見守ってくださることと信じます。

思いやり深かった彼女を想い作つたつたない句で哀悼の意とさせていただきます。

合 掌

木枯らしの 輪廻の風に 友逝けり

